

2/9

菊池市まちづくり生涯学習フェスティバル

菊池市文化会館で開催され、市内外から約 800 人が参加しました。大ホールでは各団体によるステージ発表が行われ、今回は初めて市内 3 高校がファッションショーなど特色ある出し物を披露。幼・保育園児による元気いっぱい出し物なども披露され、日ごろの練習の成果に会場からは惜しみない拍手が送られました。

講演会では、テレビ番組でおなじみの池田清彦さんが「がんばらない生き方」と題して講演。ユーモア



1. 菊池女子高のファッションショー 2. 食生活改善推進員協議会はヘルシーカレーを提供 3. 泗水東保育園児の演奏



ユーモアを交えながら講話する池田さん

アたっぷりの話で会場をにぎわせました。会場では行政相談コーナー、天体写真会、エコクラフト作り、絵本の読み聞かせやふれあい動物園コーナーなど盛りだくさんの出展があり、食生活改善推進員協議会によるヘルシーカレーも振る舞われるなど、子どもから大人までフェスティバルを満喫。中央公民館では、各種公民館講座関連の生け花や習字、さらに小・中学生などの作品も数多く展示され、多くの人が熱心に見学していました。

2/13

菊池市観光大使 劇団にゃあ in 県庁

「心豊かな熊本を創る運動推進」県民大会が県庁で開催され、菊池市観光大使「劇団にゃあ」の皆さんが大会のオープニングに出演し、肥後にわかを披露しました。内容は地域のつながりをテーマに、悪徳商法で騙されそうになる高齢者を近所の人が助けるという寸劇をユーモアたっぷりに熱演。ステージの途中で県マスコットの「くまモン」がサプライズゲストとして乱入するなど、会場は大いに盛り上がりを見せました。



突然乱入してきた「くまモン」と共演する劇団にゃあの皆さん

2/13

KCG30の皆さんに 警察署から感謝状

市内の女子高生 30 人で構成する防犯ボランティア団体・KCG30 の卒業生 12 人に、菊池警察署から感謝状が贈られました。KCG30 は平成 22 年から地域安全運動、キャンペーン、チラシ配りなどの活動に参加。今回卒業するメンバーに対し警察署から活動に対する感謝として贈られました。感謝状を受け取った菊池女子高 3 年の松野友紀さんは「卒業したら自分もしっかり交通ルールなどを守り、周りにも勧めていきたい」と抱負を語りました。



感謝状と記念品を手に見せる KCG30 の皆さんと感謝状を手渡した松山昌昭菊池警察署長（後列右）

2/3

菊池市女性の会 初春のつどい開催

「初春のつどい」が菊池市文化会館で開催され、市民約 120 人が参加しました。女性が連携し親ぼくを深め、まちづくりにつなげていこうと菊池市女性の会（中原恵会長）が毎年開催しています。

今回は、肥後の歴史物語と民話の会「語り座」代表の寿咲亜似さんが、琴奏者の藤川いづみさんと共に菊池一族の物語などを熱演。会場から大きな拍手が送られました。そのほか恒例のチャリティー募金やお楽しみ抽選会などがありました。



琴を演奏する藤川さん⑤と琴の音色に乗せて菊池一族の物語を語る寿咲さん⑥

2/6

声掛けで防ごう！ 振り込め詐欺未然防止訓練

肥後銀行で振り込め詐欺を未然に防ぐための声掛け訓練が行われました。被害者役に扮した菊池警察署員が振り込め詐欺の事例を熱演。銀行員が声掛けなどで対応し、警察官が現場に駆け付け未然に防ぐまでを演じました。窓口対応した柴琴美さんは、「行員同士の連携と警察との連携で、未然防止に心掛けたい」と話しました。最後に警察官が「大切なのは声掛け。おかしいと感じたらすぐ警察に連絡してほしい」と呼びかけました。



銀行員と警察官が連携し、振り込め詐欺の被害者役を説得

2/1

ふるさとの味を忘れない 世代間交流会

菊池市むつみ会七城支部指導の下、七城中学校 2 年生 50 人を対象に、世代間交流会（ふるさとの味実践交流会）が行われました。この行事は、食生活の変化の中で忘れられつつある郷土料理・ふるさとの味を継承させ、世代間の交流を図るために 30 年以上続いているものです。参加した中学生は、慣れない手つきで悪戦苦闘しながら、とじこ豆、のっぺい汁、白和えなどを調理。会員の皆さんとの交流を楽しみながら、ふるさとの味を受け継いでいました。



むつみ会の会員から調理方法を学ぶ中学生

2/4

チェロの響きを堪能 水源小学校音楽会

3 月で閉校を迎えた水源小学校で、チェロの響きを味わう音楽会が開催されました。この音楽会は、閉校を迎える子どもたちへのプレゼントとして企画されたものです。チェロ・石垣博志さん、ピアノ・藤本史子さん、バイオリン・矢野翔さんの 3 人のプロの音楽家が「アベマリア」や「風の谷のナウシカ」などを披露。演奏を聴いた子どもたちは「生の演奏を聴けてうれしかった。チェロの音がこんなに低いと思いませんでした」と感想を語りました。



3 人のプロの音楽家による優雅な演奏に聴き入る児童たち

2/25 オリジナルソングでまちを PR 菊池市観光イメージソング「菊池の里」できました♪

菊池市観光客誘致対策協議会（岩永誠会長）では、市の魅力をより多くの人に知ってもらうために、観光イメージソング「菊池の里」を制作しました。本市出身の音楽家である矢賀部竜成さんにプロデュースをお願いし、歌い手には亘在住の佐伯陽子さんを抜擢。市内各地域の特色を取り入れた歌詞を、しっかりとメロディに乗せ歌い上げました。制作に当たり矢賀部さんは、「菊池にある数多くの魅力をいかに要約できるかがポイントでした。癒しや静けさ



1. プロデューサーを務めた矢賀部さん 2. 福村市長に歌を披露する佐伯さん 3. 「菊池の里」CDジャケット



完成したCDを福村市長に手渡す岩永会長、佐伯さん（中右）、矢賀部さんなどをイメージしました。佐伯さんは「温泉や自然を思いながら歌いました。歌わせていただき光栄です」と話しました。イメージソングの活用について岩永会長は「菊池市の知名度向上とイメージアップにつなげるために、各種イベントや観光施設での利用など、さまざまな機会を活用していきたい」と述べました。作品は市ホームページでも試聴することができます。ぜひお聴きください。

問い合わせ先 商工観光課 ☎ 0968 (25) 7223

3/1 オリジナルソング合唱 第48回菊池女子高卒業式

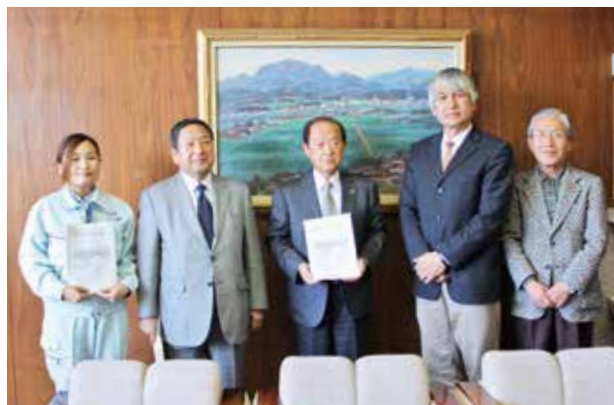
菊池女子高の卒業式で、同校出身の川嶋ともみさんが制作した曲「約束～大切な仲間たちへ～」を合唱しました。この歌は18年前、川嶋さんが3年生のときに制作した曲。同校の先生がこの曲を生徒に披露し、曲を聴いた3年生が卒業式で歌いたいと希望して実現しました。練習から本番までピアノ伴奏に参加した川嶋さんは、「曲を書いたころに生まれた生徒たちと、母校の卒業式で一緒に歌えることは奇跡。夢みたいです」と喜びを語りました。



1. 先輩である川嶋さんの曲を合唱する卒業生たち 2. ピアノ伴奏する川嶋さん

2/27 市民の思いをかたちに! 「市民広場の未来像」を提出

市民広場再整備協議会（藤原恵洋会長＝九州大学）より、市民の意見を取りまとめた市民広場再整備計画報告書が福村市長に提出されました。この報告書は、商工会や観光協会など各種団体の代表者や市民からなる協議会で作成。多くの意見を反映するために市民ワークショップや小中高生のアンケート、観光客からのヒアリングなどを実施。手間と時間をかけて市民広場のあり方や未来像などを描いています。今後の市民広場の再整備計画に利用されます。



報告書を提出した協議会の皆さん。（藤原会長、笠愛一郎副会長、協議会委員の坂本敏正さんと今村能子さん）

2/18 元バレーボール全日本代表 朝日健太郎さんが来菊

元バレーボール全日本代表の朝日健太郎さんによる記念講演が菊池南中学校の立志式でありました。朝日さんは、オリンピックの裏話や春高バレーの思い出などを講話。時折笑い話を交えながら、小さな目標を一つずつクリアしていくことの大切さを熱く語りかけました。講話が終わると運動着に着替え、生徒たちと一緒にバレーボールでスキンシップ。生徒からの質問コーナーでは一つ一つ真摯に答え、生徒たちにとって思い出に残る立志式となりました。



1. 講演で生徒に熱く語る朝日さん 2. バレーボールで生徒たちとスキンシップ 3. 生徒からの質問に丁寧に答えてくれました

2/23 くまモンも見守るモン! 認知症市民フォーラム

菊池市泗水ホールで開催され、230人が参加しました。今回は「地域でささえる」をテーマに、講演会や認知症啓発劇などを実施。認知症介護研究・研修仙台センターの矢吹知之先生の講演では、認知症のことや介護家族の思いなど、具体的な例も交えながら分かりやすく伝えました。

認知症啓発劇では、地域見守り協力員として県マススコット「くまモン」も出演。舞台と会場が一体となり、温かい雰囲気の中幕を閉じました。



認知症啓発劇には「くまモン」も出演

2/22 万句のふるさと菊池 表彰式

第7回万句のふるさと菊池の表彰式は、七城公民館で行われ、出席した23人の児童・生徒に表彰状と記念品が贈られました。今回の募集には、俳句15,815句、短歌2,778首、合計18,593と県内外からたくさんの作品が寄せられ、30作品が最優秀賞に選ばれました。

応募作品の中から選ばれた200の入選作品は、重朝公の句にちなみタイトルとなった句・歌集「月松」に掲載され、各学校などに贈られます。



俳句の部（小学校低学年）で最優秀賞を受賞した菊之池小学校1年の赤星勇斗くん

2/23 風になれ!市民ランナー 第23回菊池市民駅伝大会

上位の結果と区間賞は次のとおりです。（敬省略）

順位	チーム名	記録
1位	菊之池	51分15秒
2位	迫間・水迫	54分41秒
3位	花房	56分46秒

区間	氏名	チーム名	記録	距離（㌦）
1区	城 拓磨	高野瀬	8分28秒	2.1
2区	川口優臣	菊之池	8分17秒	1.9
3区	小田政樹	迫間・水迫	8分19秒	2.6
4区	福島もえ	菊之池	8分35秒	1.9
5区	田中正章	菊之池	8分21秒	2.6
6区	池田二郎	菊之池	8分27秒	1.9



菊池市営中央グラウンドをスタート・ゴールに、全6区間13㌦を11チームで競いました

■2月26日
泗水中学校立志式

泗水中2年生が江戸時代の「元服」に当たる立志式を行いました。集団行動や遠歩により「気力の鍛錬」として菊池恵楓園を訪問する計画でしたが、途中で雨が降り中断。学校に戻ると6年後の自分に宛てたタイムカプセルを作成し、将来への決意を記しました。



タイムカプセルを作る泗水中2年生

■3月2日
第25回泗水町少年剣道大会

泗水武道館で行われ、泗水町内の小・中学生約50人が参加しました。個人の優勝は次のとおりです。(敬称略)
小学3年以下 志柿虹花(泗水小)
小学4年 荒木礁(同) **小学5年** 工藤宙尊(同) **小学6年** 角田真凛(同) **中学生** 米本涼、濱祥子



入賞した小・中学生の皆さん

■3月5日
命を大切に「6年生を送る会」

本の読み聞かせグループ「ワンダーぶんこ」による「6年生を送る会」が泗水東小でありました。12回目となる今回は「命を守る」がテーマ。オカリナ演奏や読み聞かせを披露し、自分の命や友達の命を守ることなど、命の大切さを子どもたちに訴えました。



読み聞かせに耳を傾ける泗水東小6年生

■2月24日
第7回菊池市民ソフトテニス大会

七城テニスコートで開催され、164人が参加しました。優勝チームは次のとおりです。(敬称略) **一般男子** 出口・城組、**女子壮年** 真嶋・岩崎組、**中学生男子** 田苗・野田組(泗水中)、**中学生女子** 斉藤・坂本組(旭志中)、**小学生** 野中・黒木組(七城小)



強風が吹くなか熱戦が繰り広げられました

■2月26日
「電話お願い手帳」などを寄贈

NTTグループより「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便(ファクシミリ送信用紙)」が本市に寄贈されました。耳や言葉が不自由な人の日常生活が、便利になるようにと贈られたものです。福祉課と各総合支所民生課に置いてありますのでご活用ください。



NTTグループより永田明弘副市長に贈呈されました

■3月4日
木製すべり台楽しいな!

菊池地域木材需要拡大推進協議会(前川収会長)より、菊池第2幼稚園に木製すべり台が寄贈されました。これは、小さいころから木に親しみ、森林の大切さを感じてもらおうと贈られたものです。園児たちはお礼の歌を歌った後、早速すべり台で遊びました。



寄贈されたすべり台で遊ぶ第2幼稚園の園児たち

■2月23日
自立支援を考えるフォーラム開催

菊池市文化会館で開催され、関係者など約100人が参加。厚生労働省の佐藤博専門官による基調講演では、行政と関係機関の連携の必要性などを講話。熊本県からは行政報告などがあり、シンポジウムでは自立支援について活発な意見が交わされました。



厚生労働省の佐藤さんによる基調講演

■2月26日
泗水中3年生が小学生と交流

進路が決定した泗水中3年生27人が泗水小を訪れ、同小の1・2年生に絵本の読み聞かせなどを行い交流しました。中学生とのふれあいを楽しんだ小学生は、「読み聞かせが上手でゲームも優しく教えてくれた。また来てほしいです」と笑顔を見せました。



泗水小の児童に絵本の読み聞かせをする泗水中3年生

■3月4日
菊池北中学校「職業講和」

菊池北中1年生を対象に職業講和がありました。進路学習の一環として実施され5年目。県庁、消防署、郵便局から3人の講師を迎え、職業に就いた動機や仕事内容、やりがいなどを講話。生徒に「何か熱中できることを見つけてほしい」とアドバイスを送りました。



仕事の内容ややりがいについて説明を聞く菊池北中1年生

■2月10日
花房小卒業生が100*駅伝に挑戦!

卒業記念として6年生18人が100*駅伝に挑戦しました。みんなで力を合わせて困難を乗り越えていくことを学んでほしいと保護者の提案で1年前から計画。中村多聞くんは挑戦中、「1周が思ったよりきついけど、最後まで頑張りたい」と歯を食いしばりました。



全員でたすきをつなぎ、グラウンド684周を6時間6分41秒で走り切りました

■2月~3月
隈府の坂本邸で「お座敷ひなまつり」

「オープンガーデン菊池」10周年を記念し、隈府の坂本邸で「お座敷ひなまつり」がありました。座敷には楼閣と清水寺のジオラマを設置。芦屋人形55体のほか色鮮やかなひな人形が風情豊かに飾られました。期間中は国内外から観光客が訪れにぎわいました。



風情豊かに飾られた芦屋人形を前に笑顔を見せる坂本榮子さん

■2月22日
自動車販売店組合が清掃活動

市内の自動車販売店6社でつくる菊池自動車販売店協会(長尾隆輔代表)の皆さんが、菊池市民広場周辺の清掃ボランティアを実施しました。平成16年にスタートし今回で35回目。約60人が参加し、市民広場や温泉街、菊池公園などのごみを拾いました。



隈府温泉街のごみ拾いをする組合員の皆さん

■2月7日
“念ずれば花開く”第1回勉強会

故・坂村眞民先生の詩を学び青少年の健全育成を図る、菊池市念ずれば花ひらく会(春田勝子会長)の第1回勉強会が春田さん宅で開催されました。熊本市の阿部逸子さんを講師に迎え、坂村先生の詩を学びながら、今後の取り組みについて話し合いました。



菊池市念ずれば花ひらく会の皆さん

■2月16日
小学生五色百人一首かるた大会

合志市総合センターヴィーブルで開催され、2市1町7つの小学校から59人が参加。市内児童が優秀な成績を収めました。橙色の部・低学年で優勝した迫水小の赤星宗虎くんは「迫水小として最後の大会で優勝でき、良い思い出になった」と笑顔を見せました。



参加した市内の児童たち

■2月20日
菊池一族を学ぶ「文化財研修会」

熊本県文化財保護協会と市教育委員会の共催により菊池神社で開催されました。「菊池一族の繁栄と歴史」という演題で同神社の坂本泉宮司が講演。会員、市民や県内の歴史に関心のある人など約130人が参加し、菊池一族が歩んだ歴史などを学びました。



菊池神社の境内で菊池一族と神社の沿革の説明を受ける参加者の皆さん

■1月~2月
隈府小剣道部頑張っています!

1月27日の第14回帯山旗親善少年剣道大会の個人戦・団体戦で優勝。2月2日の熊本県道場連盟学年別個人選手権では2人が優勝。2月9日の第36回承道館少年剣道錬成大会では見事2連覇を達成するなど、快進撃を続けています。



隈府小剣道部の皆さん

■2月14日
軍事恩給連盟泗水支部から寄付

軍人恩給連盟泗水支部(福岡正廣代表)の解散に伴い、運営に活用されてきた会費169,929円が市に寄付されました。会員の皆さんは、戦争という悲惨な体験の継承者として、長年にわたり平和の大切さを訴えてきました。寄付ありがとうございました。



大切に活用させていただきます

■2月19日~21日
身につけよう応急手当

菊池広域連合消防本部北消防署で応急手当普及員講習があり、菊池女子高3年生13人が参加しました。同校は就職後の業務などに役立てるため毎年参加。介護関係の仕事に就く越猪真由さんは「実際の現場でもしっかり対応できるようになりたい」と話しました。



救命蘇生法の指導に真剣に耳を傾ける菊池女子高の皆さん